

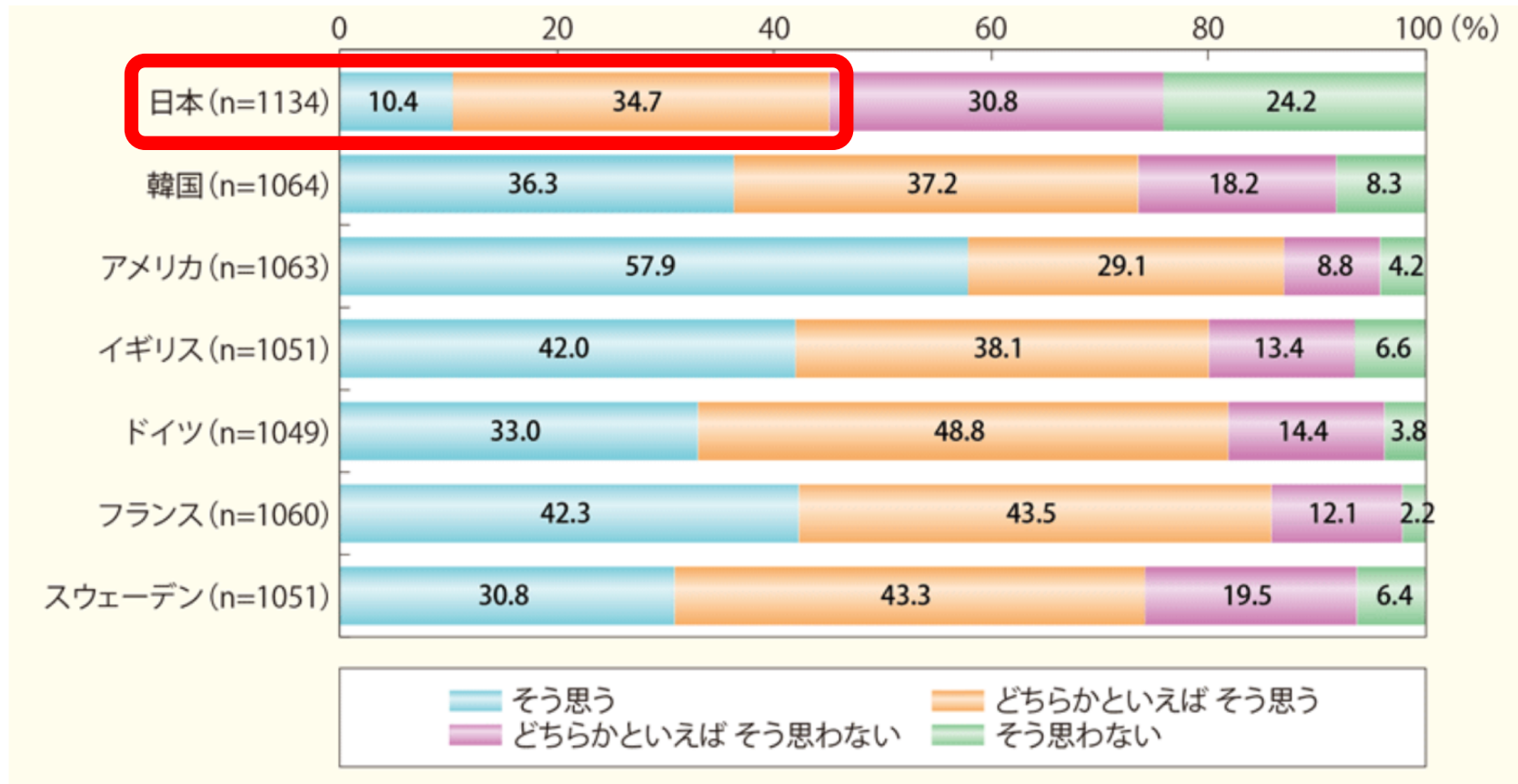
親や周りの大人と 子供の自己肯定感の関係

～絶対的な自己肯定感を養うために～

1. 日本と世界の若者の現状

【Q：自分自身に満足している】

参考：内閣府「令和元年版子供・若者白書」



自己肯定感を感じる若者の割合が最も低い

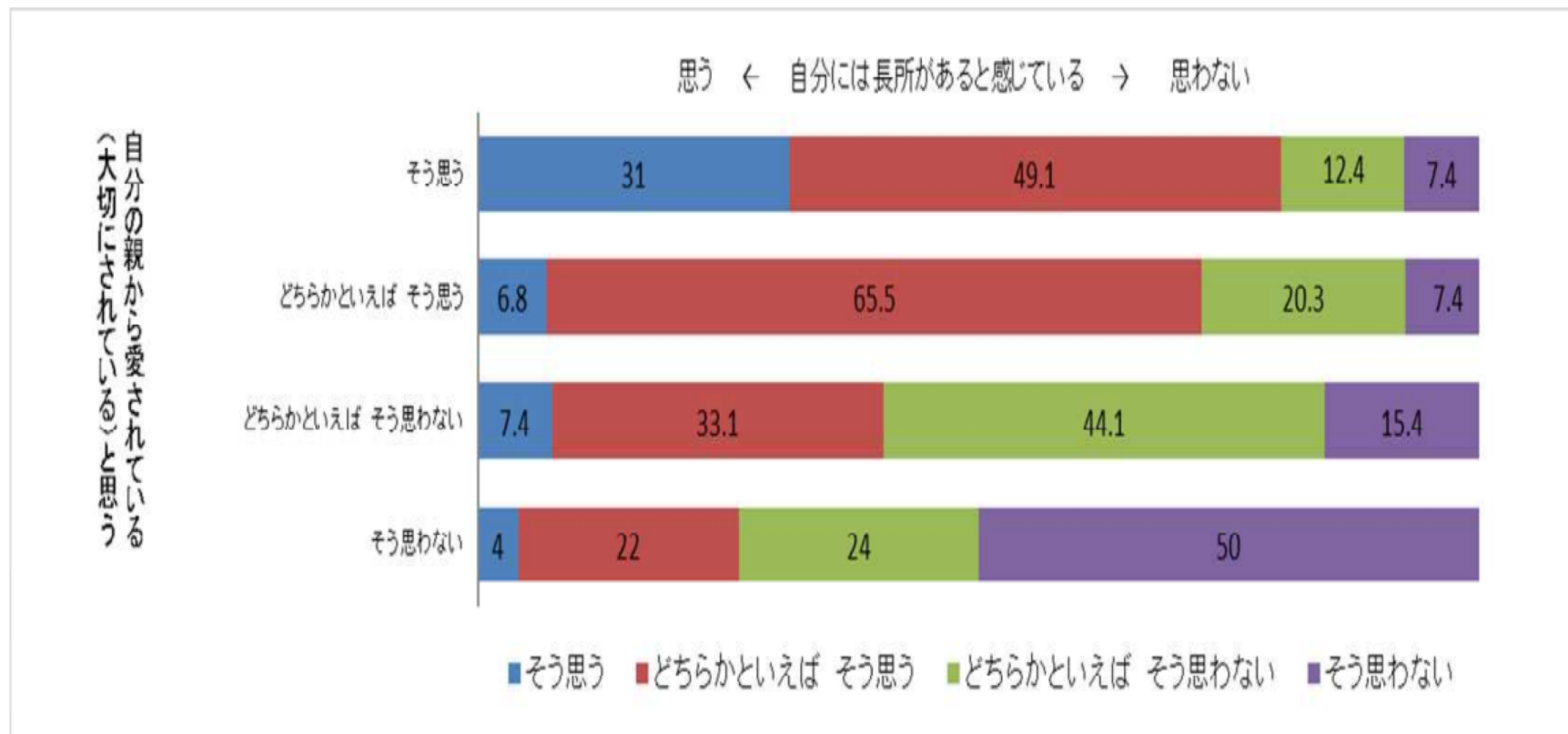
2. 自己肯定感の種類

自己肯定感の概念	自己の何を肯定するのか	何によって自己肯定感が生じるか	
他者評価等に基づく自己肯定感	自らの努力や能力、成果	他者からの肯定的な評価、他者との比較	長所のみで自己肯定
自己受容に基づく自己肯定感	自分らしさや個性 (長所だけでなく短所を含む)	自身による受け止め	
絶対的な自己肯定感	自らの全存在	<u>保護者等からの愛情</u>	短所も含めて自己肯定

参考：教育再生実行会議「第十次提言」

「絶対的な自己肯定感」がすべての基盤となる

3. 親などの考え方や姿勢の影響



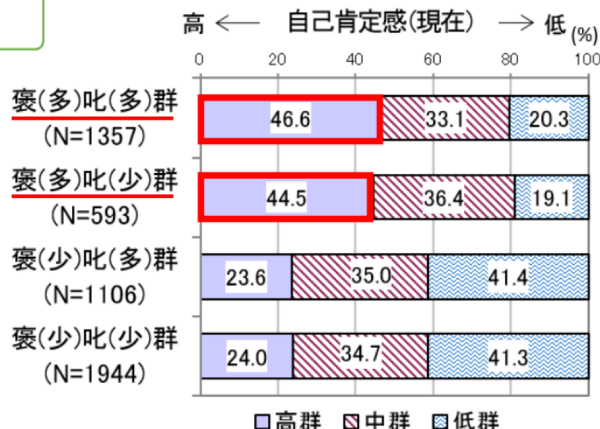
参考：内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」

親の愛情を感じていると自己肯定感も高い

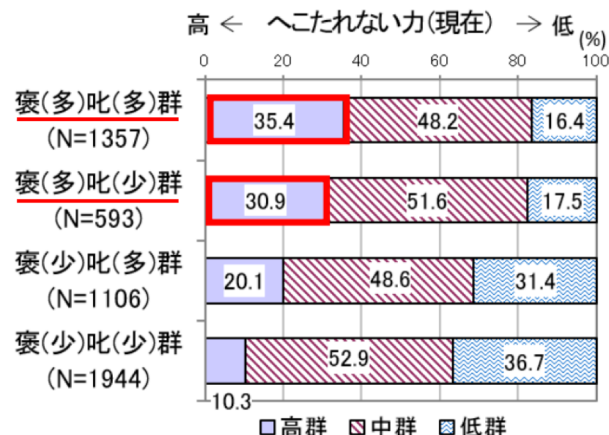
3. 親などの考え方や姿勢の影響

親

(子供の頃)
親に褒められた・
厳しく叱られた経験

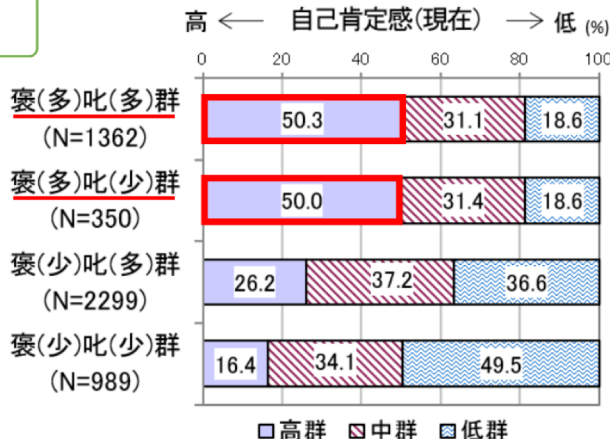


(子供の頃)
親に褒められた・
厳しく叱られた経験



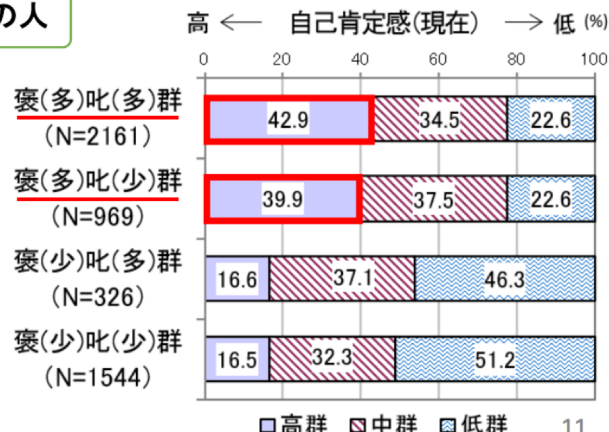
先生

(子供の頃)
先生に褒められた・
厳しく叱られた経験



近所の人

(子供の頃)
近所の人に褒められた・
注意された経験



参考：国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」

褒められた経験が多いと自己肯定感も高い

3. 親などの考え方や姿勢の影響

◆「自分の良いところが何かを言うことができる」



※2015年から2017年にかけて「小4生→小6生」「中1生→中3生」「高1生→高3生」の子どもを対象に集計。

※保護者に「努力すればたいていのことはできる」と思うかどうかをたずねた。

※自己肯定感は子どもの回答。「肯定」は「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計、「否定」は「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の合計。

参考：ベネッセ教育研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2017」

**「努力の効果」を感じている親の
子供ほど自己肯定感が高くなる**

4. 自己肯定感を育てる環境の構築

①夢や目標が明確になる



②自己肯定感が高まる



③挑戦心が高まる



④夢や目標に挑戦する

子供を取り巻く親や教師などの大人の考え方や姿勢が、子供の自己肯定感に多大な影響を与えている。

子供の自己肯定感を養い、夢や目標に挑戦する児童を育成するためには、親や教師などの周りの大人へのアプローチが必要。